



人気投稿キャンペーンを今年も実施
羽田空港が“旅にまつわるエッセイ”を全国から募集
「旅する日本語」投稿キャンペーンを開始

募集期間：2019年7月1日～9月30日（結果発表：12月予定）



ポストカード（表面）



ポストカード（裏面）



投稿キャンペーン / 募集する日本語一覧

日本空港ビルディング株式会社は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年に向けて、日本語と日本のローカルの魅力を共有する活動「旅する日本語展」を実施しています。旅にまつわる美しい“日本語（小山薫堂氏）”と旅情感あふれる“絵画（小池アミイゴ氏）”を組み合わせたオリジナルアート作品展の活動に加え、昨年度約4,000件もの“旅の言葉”が集まった「旅する日本語」投稿キャンペーンを、今年度も7月1日より開始します。

応募概要

「旅する日本語展」で使用されている言葉を使用して、400文字までのエッセイ、ショートストーリー、写真を募集します。

応募方法：投稿はinstagram / note / ShortNoteで行います。ハッシュタグ #旅する日本語 と該当する日本語のハッシュタグをつけて、旅にまつわるエッセイ（漢字とタイトル）を投稿

- 日本語**：
- 1) 和煦（わく）・・・春の日の暖かなこと。また、そのさま。
 - 2) 六月柿（ろくがつがき）・・・トマトの別名、古名。
 - 3) 麗らか（うららか）・・・心にわだかまりのないさま。おっとりしているさま。
 - 4) 万福（まんぷく）・・・幸福の多いこと。数え切れないほどさまざまな幸福。
 - 5) 途立つ（みちたつ）・・・出発する。旅の途につくこと。
 - 6) 心細し（うらぐわし）・・・心にしみて美しい。えもいえず美しい。
 - 7) 大童（おおわらわ）・・・なりふりかまわず、夢中になってすること。一生懸命になること。
 - 8) 涼み客（すずみきゃく）・・・夏、涼を求めて涼しい場所へ繰り出す人。避暑客。
 - 9) 致景（ちけい）・・・この上なく素晴らしい景色。良い景色。
 - 10) 心安（うらやす）・・・心の安らかなさま。気掛かりがないさま。
 - 11) 追懐（ついかい）・・・昔をなつかしく思い出すこと。追想。

HANEDA

Tokyo
International
Airport



募集期間：2019年7月1日～9月30日

景品内容：最優秀賞（1名）：10万円相当の旅行券

優秀賞（2名）：5万円相当の旅行券

企業賞（11名）：1万円相当の旅行券

審査員：協賛者様、小山薫堂、小池アミイゴ、羽田空港（日本空港ビルデング株式会社）

※受賞作品は旅する日本語展 2019 公式ホームページ等で発表し、羽田空港内で展示を行う予定です。

※景品/イベント内容は予告なく変更になる可能性がありますのでご了承ください。

「投稿キャンペーン」昨年度の最優秀賞作品

お い 「生ひ優る」

ユーザー名：わこ

かさついた、けれども柔らかな手は触れると少しだけ冷たい。

「おばあちゃん、指先が冷たいよ」

私がそう言うと祖母は笑った。

皺のある肌が曲線を描いて穏やかになる。

祖母は今年で九十六歳だ。

「座る椅子が足りないね。持ってこようか」

耳が随分遠くなったが、優しい所は昔から変わらない。

数日前に祖父が亡くなった。

祖母は号泣しながら、長年連れ添った伴侶に「お疲れ様でした」と声を掛けていた。

「遠くから来てくれてありがとうね」

私の久しぶりの訪問に、祖母はとても喜んだ。

社会人になって、会いに来る頻度が減っても祖母は私を責めない。

次はいつ来る？と急かしたりもしない。

気持ちを正しく言葉にすることと、気持ちを抑えて言葉にしないことは、きっと同じぐらいに難しい。

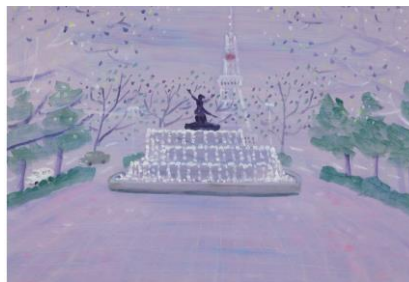
どんな風に年を重ねたら、私は祖母のようにになれるのだろう。

「それじゃあ、また来るね」

帰りがけに祖母の手を取る。

いつの間にかあたたかくなっている指先に、私は安堵する。

旅する日本語「オリジナルポストカード」を羽田空港で無料配布



配布期間：

2019年7月1日～2020年3月31日

配布場所：

羽田空港第1ターミナル2階出発ロビー

旅する日本語の特別仕様の設置に合わせて、昨年度約60,000枚を配布した旅する日本語「オリジナルポストカード」を今年度も羽田空港にて無料配布します。

HANEDA

Tokyo
International
Airport



羽田空港の出発ロビーが、日本語と旅をテーマにしたアートギャラリーに

展示場所：羽田空港第1ターミナル2階出発ロビー

掲載期間：2019年4月1日～2020年3月31日

詳しくは「旅する日本語」公式WEBサイトまで URL: event.tokyo-airport-bldg.co.jp/tabisuru/



追懐
文：小山薫堂

追懐は、追憶と似た響きがあるが、追憶は過去の記憶を呼び起こす行為であり、追懐は、追憶よりも、追憶を越えて、追憶を懐かしむ行為である。追懐は、追憶を越えて、追憶を懐かしむ行為である。追懐は、追憶を越えて、追憶を懐かしむ行為である。

途立つ
文：小山薫堂



途立つ
文：小山薫堂

途立つは、追憶を越えて、追憶を懐かしむ行為である。途立つは、追憶を越えて、追憶を懐かしむ行為である。途立つは、追憶を越えて、追憶を懐かしむ行為である。

追懐

文：小山薫堂



Photo by Katsumi Minamoto

文：小山薫堂

放送作家・脚本家

1964年6月23日熊本県天草市生まれ。

「料理の鉄人」「カノッサの屈辱」等、斬新なテレビ番組を数多く企画。初脚本となる「おくりびと」では、第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語映画賞獲得をはじめ、国内外で高い評価を受けた。執筆活動の他、下鴨茶寮主人、京都造形芸術大学副学長を務める。くまモンの生みの親でもある。



絵：小池アミイゴ

イラストレーター

1962年群馬県生まれ。

長澤節主催のセツモードセミナーで絵と生き方を学ぶ。1988年よりフリーのイラストレーターとして活動。併せて音楽家や地方発信のムーブメントをサポート、展覧会や音楽イベント、ワークショップ開催を重ねる。2011年3月11日以降日本各地を巡り個展「東日本」に結実。絵本「とうだい」(作:齊藤倫、福音館書店)作画担当。東京イラストレーターズソサエティ理事長。

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 旅客ターミナル運営本部 リテール営業部 広告・イベント課

TEL:03-5757-8520 9:00-17:30(土日祝除く)